

事務事業名		農業用施設維持補修事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	0 2 地域特性を活かした農林業の振興		区分	
	基本事業名	0 1 魅力ある農業の推進		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	農林水産部農林課		【開始年度】	
	課長名	佐藤 雅基		-	
	係名	農政係	電話	0192-27-3111	
	担当者	森 崇	内線	344	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
<p>本事業の対象の多くは農業用水路である。農業用水路は、稲作等農業全般に影響を及ぼすとともに、大雨時に水が溢れることになれば、付近住民に多大の損失を与える恐れがあることから、常に維持管理に努める必要のある施設である。</p> <p>しかし、未整備や破損等により、充分な用水量を確保できないことや大雨時に周辺の土地家屋への被害がある。このため、円滑に農業経営が行われるよう、また、さらなる災害を防ぐよう、補修事業を実施している。</p> <p>主な業務内容</p> <p>①補修現地確認 ②補修委託業務 ③完了確認</p> <p>事業費は補修委託費として支出される。</p>				C 施設管理	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	0
				財源内訳	
				国庫支出金	
				都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
				事業費計(A)	0
				正規職員従事人数	
				延べ業務時間	
				人件費計(B)	0
				トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
<ul style="list-style-type: none"> 補修事業地を確認し、補修を委託。完了後確認、検査を行った。 ハザードマップを作成した。 		ア	農業用水路の補修件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
<ul style="list-style-type: none"> 補修事業地を確認し、補修を委託。完了後確認、検査 工法検討 		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路を使用する農家 補修が必要な農業用排水路 		名称	
		カ	補修する農業用水路の周辺農家戸数
		キ	水路の補修要望箇所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
<ul style="list-style-type: none"> 農業用水が確保される。 水害件数を減少させる。 		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
<ul style="list-style-type: none"> 安定して農業を営む。 		サ	水路補修件数/水路補修要望件数
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	1,221	0	1,047	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	4,569	3,818	2,568	2,450	0	
		一般財源	千円	5,702	0	0	0	4,550	2,047	
	人件費	事業費計(A)	千円	5,702	4,569	3,818	3,789	7,000	3,094	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	600	600	600	800	600	750	
		人件費計(B)	千円	2,400	2,400	2,400	3,200	2,400	3,000	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,102	6,969	6,218	6,989	9,400	6,094	
⑤活動指標	ア	件	10	9	9	10	10	4		
	イ									
	ウ									
⑥対象指標	カ	戸	100	100	100	100	100	100		
	キ	箇所	20	20	20	20	20	20		
	ク									
⑦成果指標	サ	%	50	40	45	50	50	15		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0526	事務事業名	農業用施設維持補修事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・事業開始年度は不明であるが、市内各地の農業用水路使用者から補修等の要望が多く出されたため。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・冬期間が過ぎると、依然として、各所で老朽化等による目地等の破損などが発生し、十分な用水を確保できないなど農業用排水路として十分な機能を発揮できない状況である。また、大雨等の増水時には水路から溢れ農地及び宅地に被害を及ぼしている状況である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・安定的取水による農業用水の確保と増水による宅地の冠水被害を防止するよう早急に改修要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ ・水路を整備する事により、安定的取水による農業用水の確保と増水による冠水被害を防止することになり、その結果、農業振興に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・水路用地(青線)であり、管理は市の義務であり、農地保全に結びつくので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・老朽による破損箇所等の補修整備であり、補修箇所が毎年発生している状況にあり、拡大縮小の余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・予算の増額が図られないので、補修必要箇所の補修率を高めることができない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・休廃止することは、農業振興の妨げ及び水路周辺住民に冠水被害を及ぼす問題が生じる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・事業費を削減することは、破損水路等の早期修復につながらず、農家及び水路周辺住民に多大なる迷惑をかける。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど) ・補修現地確認、補修委託業務、完了確認など、事務事業に見合った業務所要時間であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・農業用水路は、農業用水を確保する等、農業振興の性格を持つとともに、増水時には排水路としての性格も併せ持つ公共的施設であるため、事業が一部の受益者への偏りとはならない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持 ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	現状どおり、継続して事業を実施する。 令和7年度は、5年に1回の農道橋長寿命化点検時期に当たるため事業費が増加するが、点検を実施することで農道橋の計画的な維持管理が可能となり、修繕や改修が必要になった場合にも補助制度の活用が可能となる。 通常の維持管理分を抑えつつ、全体としてのコストは現状維持を目標とする。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	現状維持で継続するものの、台風や大雨等により修繕が多い場合は、補正予算等で対応する必要がある。